

17年平和行進 FAX News NO 05

2017年国民平和行進大分県実行委員会 連絡先・090-2511-4414 7月9日

行進6日目

雨の中行進団大分市中心部入り

行進7日目の9日も朝から雨でしたが予定通り9時に鶴崎駅前を出発しました。出発時は19名の参加者でしたが、市内中心部に近づくにつれて参加者が膨れ上がり、大手公園到着時には36名になっていました。切れ目なく降り続く雨の中の行進でしたが、途中の平和市民公園で年金者組合の茶菓のもてなしがあり、到着地の大手公園では、医療生協の組合員さんたちから、オニギリや漬物、お饅頭、バナナなど用意していただき、歩き疲れた行進者には何よりのご馳走でした。

中央集会に80余人が参加

降り続く雨の中の集会になりましたが、行進に参加できなかった地域の人たちや、昼休みの時間に参加した職場の人など80人を超える参加でした。

集会では行進実行委員会事務局から「7月2日に宮崎県から引継ぎ県南3市を行進してきたが昨年を上回る参加者。核兵器禁止条約交渉の影響もあるのではないかと、自治体関係者も禁止条約には関心を持っており、平和行進などの運動を評価し激励を受けた。」と報告、通し行進者、県内通し行進者の紹介とあいさつを受け、実行委員会から「後半の行進の成功、ヒバクシャ国際署名の推進、8月の世界大会に職場・地域から多くの代表を送ろう」との行動提起がありました。

大分県、大分市を訪問懇談

13時から大分県庁を訪問しましたが、知事部局、県議会共に大雨災害のため担当者不在のため、実質的な要請行動のはなりませんでした。大分市は総務課長らに対応、核兵器禁止条約や平和行進などの運動について懇談し、ペナントなどを受け取りました。市議会議長は不在で議会総務部長が対応し「みなさん方が長い間このような運動を続けていることを知り心から敬意を表します」と述べ懇談しました。

行進7日目

竹田市・豊後大野市を行進

行進7日目は本コースを離れ、竹田市と豊後大野市を行進しました。久しぶりに雨具の用意の要らない行進。竹田市内行進には地元の医療生協の組合員、新婦人に加えて全労働、医療生協労組の若者が加わっての行進、団体ののぼり旗が風になびく行進は気持ちよかったです。商店街に70メートルもの「ソーメン流し」の装置が作られていました。

小学生6年生が飛び入り行進

豊後大野市を行進途中に出会った小学生に「一緒に歩かないか」と声をかけたら「何の行進ですか」んばくと近づき、「核兵器をなくそうという行進」と言うと「修学旅行で長崎の原爆資料館に行った」「あのような悲惨なことを起こさないように、核兵器をなくそうと歩いて呼びかけている」と説明すると「どこまで行くの」と聞くので「市役所まで」と答えると「一緒に歩きます」と原爆の話をしながらか一緒に手を振りながら到着地まで歩きました。